

仕 様 書

1. 物品の名称

堆肥化施設において検知器連動による臭気低減装置

2. 目 的

堆肥施設において、発生する臭気を軽減するために、発生臭気を電気信号に変換し連続的にモニタリングし、アンモニアガスあるいは臭気指数との相関により一定レベルの信号により、臭気低減の為に散水及びブロワーの ON/OFF を制御することにより、堆肥化施設から悪臭の発生を効率的に制御するとともに、過度な加水を防止し堆肥化条件を良好とし高品質な堆肥生産を可能とする。

3. 処理装置の能力

1) におい検知器部

(1)堆肥化施設から発生する悪臭物質に対して検知しその応答時間が 2 分以下で可能であり、化学的な測定値との相関に有意性があること。

(2)的確な制御を可能とするため、連続的に判定でき、比較時間は 15 分以内で任意設定が可能であること。

(3)接点出力は AC250V 相当の出力が可能であり、システムエラー及び、濃度に応じたアラーム、ワーニングの表示が可能であること。

(4)データ保存が外部メモリーにおいて、10 秒周期で 1 か月以上可能で、パソコンによるデータ読込が可能であること。

(5)通常的气象条件での制御が可能であることから、動作温度：-10～50℃及び湿度：20～80%RH 相当の環境で動作可能であること。また、防水構造で屋外での設置が可能であること。

(6)におい検知器は、堆肥舎内及び堆肥舎外に設置可能であり、制御盤と専用のケーブル（15 m以上）接続可能であること。

2) 臭気制御部

(1)におい検知器からの信号により、散布用タンクから 2 槽の既存堆肥舎表面（7m×2.8m）へスプレーノズルによりミストの散布及び既存の堆肥ブロワーの制御が可能であること。

(2)散布用タンクは 200L 以上とし、汲み上げポンプは 1 時間以内に 200L の散布が専用のスプレーノズルにより散布が可能であること。

(3)スプレーノズル及び配管は、堆肥管理作業から、堆肥舎壁面上部から堆肥表面に均一にミスト状に散布でき、その粒径は 80 μ 以内であること。

(4)スプレーノズル及び付随する配管は堆肥舎での利用を考慮し、防錆の資材もしくは塗装を施してあること。

4. 試験装置での確認事項

(1)堆肥化施設から発生する臭気を連続的ににおい検知器で測定することにより経時的な臭気発生量の特性を把握し、検知管及び臭気センサーから値と相関関係を明らかとする。

(2)におい検知器による臭気濃度表示により、ミストのスプレーを自動制御し、臭気濃度の低下量により、的確なミストの散布量時間の設定を行う。

(3)におい検知器はブロワーと連動することで、臭気濃度によるブロワー制御により臭気濃度制御の確認と効率的なブロワー稼働時間設定を行う。

6. 引き渡し条件

(1)におい検知器の臭気濃度表示値と検知管分析との妥当性の確認

(2)におい検知器指示により、堆肥舎へのミスト散布の動作制御の確認

7. 支援体制

(1)納入後1年間は軽微な改良等については、迅速に対応すること。

(2)納入後1年間、通常の使用で発生した故障であって、使用方法に重大な過失がない場合は無償で修理すること。

堆肥化施設において検知器連動による臭気低減装置配置図

